

# チェンライ日本人会 会報

NO172  
2022年8月号



7月17日（日）、臨時総会を開催しました。

当日は25名（含新入会1名）の出席が有りました。議題として① 会の活動と活性化について②会則の変更について③次期役員について④会報について⑤住所録などの個人情報の扱いについて⑥その他連絡網など、活発な議論が交わされました。

前回も書きましたが、これからは「みんなで考えみんなで参加」をスローガンに、会員全員の創意がいかに重要かが実証されましたので、今後も話し合いの場を増やし、広く多くの方々のご意見を取り上げて会の活動に活かして行きます。

なお、今回の議事の内容については9月号会報に掲載いたします。

チェンライ日本人会 会長 小杉 誠輝

August 8 2022

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10 ILLUST BOX	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12日 シリキット大后記念日（母の日）

## 8月誕生日の会員です

- 5日 本地 重喜さん
- 5日 長野 基博さん
- 6日 菅原 博美さん
- 16日 中村 清光さん
- 26日 池上 耕司さん
- 29日 倉本 博正さん
- 31日 鍋田 慶次さん

誕生日おめでとう！！！！



## チェンライ領事出張サービスのお知らせ

下記の通り領事出張サービスがあります。各種証明の申請・交付、パスポートの更新、在外選挙登録の受け付け等を行います。

- 日時 **2022年8月20日(土) 08:30～12:00 及び 13:30～15:30**
- 実施場所 **WIANG INN HOTEL CHIANG RAI Chiang - Saen Room**  
**893 Phaholyothin Rd., T.Wiang, A.Muang**

**当日、同会場においてチェンライ日本人会「よろず相談会」を行います。どんなことでも結構ですのでお気軽にご相談ください。**

**12:00～13:30まで**

あなたは一人ではありません！ 最近日本国内において、社会的な孤独・孤立が問題になっています。

日本政府では、内閣官房に「孤独・孤立対策担当室」を設置して政府一体となって、この問題に取り組んでいます。子供たちのいじめ、児童虐待、自殺、性犯罪、配偶者からの暴力など様々な問題が深刻化しています。

我々のように海外で暮らす人々にとっても同様の問題が起こり得ます。周りは異国の人々、何か困った事が有っても相談する人は少なく自分で解決しなければなりません。特に今後ますます高齢化が進み、孤独や孤立の問題が懸念されます。お一人で悩まずどうぞご相談ください！

## 在チェンマイ日本国総領事館より

タイの大麻に関する規制緩和（注意喚起）2022/07/04 月 17:30

タイ政府は大麻に関する規制緩和を進めており、大麻を含む製品が広く流通しているほか、本年6月9日には医療・健康目的の家庭内栽培も解禁されました。しかし、娯楽目的での使用や公共の場における使用は依然として禁止されています。

タイでは大麻に関する規制緩和が進められておりますが、タイ在留邦人の皆様、また、出張・旅行等でタイを訪問される皆様におかれては、以下の点に十分ご注意ください。

1. タイでは、大麻に関する規制緩和が進められており、大麻を含む飲食物や化粧品等が広く流通しているほか、本年6月9日には、大麻が規制薬物のリストから除外され、家庭栽培が解禁されるなどしております。しかし、タイにおいても、**解禁されたのは医療等を目的とする使用や栽培であり、引き続き娯楽目的での使用は認められておらず、公共の場で大麻を吸引することなども禁止されています。**

2. 日本では大麻取締法に基づき大麻の所持等が禁止されており、日本に大麻を持ち込もうとした場合等には同法による処罰の対象となります。また、国外において大麻をみだりに、栽培したり、所持したり、譲り受けたり、譲り渡したりした場合などに罰する規定があり、罪に問われる場合があります。

3. 大麻を乱用した場合には、幻覚作用や記憶への影響、学習能力の低下等の健康被害が生じることも指摘されています。

4. **日本及びタイの法令を遵守の上、トラブルに巻き込まれたり、御自身の健康を損ねたりすることがないように、安易に大麻に手を出さないように御注意ください。**

（問い合わせ先）○在チェンマイ日本国総領事館 電話：+66-52-012500 Fax: +66-52-012515

## TOPICS トピックス TOPICS トピックス TOPICS トピックス TOPICS



6月21日に柳沢正則さん宅を訪問しました。子供さんのパスポートの申請に一時来タイされて、6月25日には家族で日本へ帰られました。



7月2日に北部地区の雑談会を行いました。久しぶりにパトゥーン温泉で行い、店主からキムチの差し入れがありました。ご馳走様でした！！



7月7日にチェンライの日本人の集まり場にお邪魔しました。日本語が堪能な女将さんの気配りサービスでくつろぎました。カレーライス最高に美味しかったです！！日曜日は定休日だそうです。



約3年ぶりにお会いしました。相変わらずお元気で、二代目の愛車バギーに乗って屋敷中を走り回って、草刈りや片付けに精を出されていました。古守泰男会員



# ゴルフ愛好会 より次回は8月21日(日) ハッピーシテ-GC 集合8時30分



# お宅訪問

福岡県は多くの著名人や芸能人を輩出する土地柄として知られています。

主な人では、松田聖子、井上陽水、高倉健、タモリ、麻生太郎さんなど多くの方がいます。

理由としては、福岡県は大陸や半島に近く、外国からの影響を多く受け入れてきたので、美男美女が多いということ、また目立ちたがり屋でお祭り好きの県民性によるものと言われていますが、今回は日本人会の中にも福岡県出身者が数人いますが、最近引っ越しされたばかりの池上耕司さん宅にお邪魔して色々と福岡県の事やご本人のことを伺いました。



池上さん（通称ゴローさん）の信条は、「来るものは拒まず去るものは追わず」で、大変気さくな方で沢山のひとと交流を持っていて、いろんな情報や知識が豊富な方です。

生まれは福岡県北九州市で、厳格な家庭の長男として生まれ、若い時は車のレーサーとして活躍していましたが、1997年からチェンマイに滞在して飲食店を営まれていました。そして、2010年からチェンライへ引っ越し、毎年4月から9月までの期間だけチェンライに住んでおられます。

好きな言葉が、「日々感動」、「自由奔放」で、滞在中はゴルフと温泉のタイ生活を満喫しておられます。ゴルフは毎週していて、時々愛車で旅行するのが楽しみだそうです。ちなみに、好きな歌手は葛木ユキさん（今年6月亡くなられた）だそうです。

インタビュー 小杉

# 観光客は戻るか

## ■来やすくなったが

7月1日から[タイランド](#)・パスが外人入国者に対しても廃止となった。[タイランド](#)・パスとは1万ドルの[医療保険](#)を付保してタイ大使館に申請する1種のビザだ。このビザは申し込めばすぐ下りる、保険の手続きもそれほど面倒ではない。でもネットを介して作業する必要があり、慣れない人にとっては面倒だ。これが廃止になったのだから、航空券さえ用意すれば誰でもすぐにタイに行ける。

でも、タイへの外人観光客は増えるだろうか？ [感染症](#)前の2019年には約4千万人の外国人観光客がタイを訪れた。内、中国人が1千万人と全体の4分の1を占めた。中国はここ3年で経済が落ち込んだし、[共産党政権](#)は国民が外国に行くと、つまらぬ知識がついて反政府的になりがちだ、として旅券の発行制限をしている。外貨の持ち出しも[共産党政権](#)にとって不都合だ。ある意味で[鎖国](#)政策を始めたと言っていい。

2019年にタイを訪れた日本人観光客は190万人と過去最高を記録した。[タイランド](#)・パスがなくなったからといって、日本からの観光客は増えるかということも疑問だ。まず、日本とタイ間を結ぶ航空便が少なく、結構値段が高い。[感染症](#)以前に出回っていた格安航空券は東京—[バンコク](#)が往復で3万円を切っていた。時間や便によってはさらに安かった。

その次に障壁となっているのは日本の「水際作戦」である。日本は世界から見て[感染症](#)をうまく抑え込んだ国であるにも拘らず、入国制限が厳しい国だ。日本人が[バンコク](#)や[プーケット](#)に来て日本帰国に際して72時間以内の[PCR](#)検査陰性証明が求められる。観光の合間に病院を探して検査してもらって、あとでその結果を貰いに行く。面倒なうえに費用も掛かる。中国ほどではないにしても日本政府は国民を外に出したくないのだろう。

## ■ [ラオス](#)は開国

タイでは1日の感染者数が2千人を割る日も出てきた。マスク着用義務は原則として解除されたが、老人や基礎疾患のある人、また混雑した場所ではマスク着用が推奨されるとしている。そして、チェンライの市場やスーパーではほとんどの人がマスク着用だ。一応、今年の7月末まで非常事態宣言が延長されているが、ビヤバーやカラオケは営業再開というし、観光客受け入れ準備は着々と進んでいるようである。

これまで、1, 2泊のタイ国内の旅行は行っているが、[タイランド](#)・パスが足かせとなって海外旅行にはまだ行っていない。台湾、[ミャンマー](#)、[カンボジア](#)などまだまだ入国制限がある。ただタイから[ラオス](#)には問題なく行けるようになった。[ラオス](#)は滞在15日以内であれば[日本国籍](#)所有者に対するビザの取得が免除されている。これは日本が[ラオス](#)に多大の援助をしている見返りという。10年ほど前、タイと[ラオス](#)の国境、フエサイで豪州やヨーロッパの[バックパッカー](#)達に「俺たちは25ドルのビザ代金を支払うのにどうしてお前はビザが要らないんだ」と羨ましがられたことがある。あの時は日本国民であることを少し誇らしく感じたものだ。

[ラオス](#)なら明日にでも行ける。でも[ラオス](#)に行って何すんだよ、という気持ちが先に立つ。もう何度もバスやスクータで行った。[メコン](#)に落ちる夕日を眺める、ただそれだけの目的でタイのチェンコンから[メコン](#)をわたって対岸のフエサイに1泊したこともある。[世界遺産](#)の古都ルアン普拉バン、[メコン](#)を一望するワット・プーにも行った。ワット・プー遺跡は世界で一番観光客の少ない[世界遺産](#)という。

## ■ [イナーシャ](#)が付いたのか

20年ほど前、「[イナーシャ](#)」という言葉をよく聞いた。「慣性」の意味だが、「デフレも[イナーシャ](#)がついているからしばらくは不況が続くだろう」といったように政治経済分野でも使われていた。ダラダラと同じような状態が続くことでは、旅行もしばらく出かけていないと、別にすぐ行かなくてはいけない理由はないし、と旅に対する関心が薄れている今の状態と同じだ。近場に行くのも億劫であるから、人種差別を受ける恐れのある

る欧州や米国など始めから計画しない。ひよいと思いついてスクータに跨ってスコタイやラオスに出かけた頃が夢のようである。以前は、行けば同じ所でもまた格別の気持ちが沸いて、というワクワク感があった。あの元氣はどこに行ったのか。

このひと月、毎日、プロテニスを観戦し、邦人選手を応援してきた。それが終って「トーナメント・ロス」に襲われたのか。片雲の風に誘はれて、漂泊の思ひやまず、の心はどこに消えたのか。イナーシャとは関係なく、ただ年のせいであらゆる力が薄れてきているのだろうと思う。それも自然なことだ。

中西英樹会員 ブログ「チェンライの市場から [hidenaka24.hatenablog.com](https://hidenaka24.hatenablog.com)

## 中村由春会員が自作の唄を熱唱！！

京都・霧の宿 唄 なかむら 周平

- 1, 貴船山から 木の根町  
人目忍のべば 霧が身を包む  
運命に背いた 愛ひとつ  
縫うこの手を 離さずに  
今宵限りの 恋命  
あなたと辿る ああ霧の宿
- 2, 日暮れ間近は せつなくて  
木立篠笛 霧を振るわせる  
湯上がり素肌に 洗い黒髪  
乳房恥らう ほんのりと  
ともす灯りの 恋螢  
こぼれる吐息 ああ霧の宿

2022、7、17 臨時総会会場にて

